

Top Message

THK製品を通じた社会貢献

THKを取り巻く経済環境

2013年度は、米国の金融引き締め気配を受け、新興国の経済成長が減速いたしました。その後金融緩和が継続したことにより、米国、日本、欧州において緩やかな回復基調を見せ、世界経済は安定した推移をいたしました。

このような環境下で、THKは、市場の拡大を目指して引き続き「グローバル展開」と「新規分野への展開」を成長戦略の柱として、お客様の要求に即時に対応できるように「消費地における製販一体体制の構築」を積極的に進めてまいりました。

営業面では、中長期的な需要の増加が見込まれるアセアン諸国、インド地域において販売網の拡充を図りました。生産面では、中南米地域での自動車生産の増加に備えてTHKリズムのメキシコ工場を稼働させました。また、中国及び東南アジア地域の需要拡大に備えて、2014年12月の稼働を目指して大連THKの移転拡張工事を進めており、2015年10月の稼働を目指して常州に工場建設を進めております。

THK製品を通じた社会貢献

THKの経営理念は、創業以来「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」というものであります。

当社は、直動システムが機械装置には勿論のこと、社会の様々なシーンで使用されることが、省エネルギーやコンパクト化に貢献し、安全や医療、介護等にも多大な貢献をするものと考えております。そのため当社では、当社の本業をさらに拡大・発展させることがCSRの実行につながると考えております。

例えば、東日本大震災を契機に防災意識が高まり当社の免震・制震装置の需要が急速に増加しました。ビル免震や住宅免震への採用、コンピュータのサーバー免震、文化財や美術品、透析装置等の大切な医療機器への採用等も見られました。

また、CO₂の排出削減のために再生可能エネルギーへの転換が進んでおりますが、当社製品は風力発電や小型水力発電にも使用されており、当社自らこれらの装置の開発も進めております。

さらには、高齢化社会を迎えて、各種の医療機器や介護機器にもご使用いただいております。

今後は、産業用ロボットには勿論のこと、民生用のヒューマノイドロボット等にも利用が拡大していくものと期待をしております。



T H K株式会社
代表取締役社長

高橋 昌彦

THK製品の普及に向けた取り組み

前述のように、THK製品は機械や装置の直線運動、回転運動の様々なニーズに最適な要素部品として貢献しておりますが、市場のグローバル化に伴い、当社の発信する情報が十分にお客様に届かず、逆にお客様の声も100%当社に届いているとは言えないところがございます。

THKは創造開発型の企業として、また直動システムのパイオニアとして、業界トップの開発力と品質を誇っておりますが、これらの強みをお客様の機械装置に生かしていただき、お客様の製品の競争力を格段に高めていただくことが重要だと考えております。そこで、今後はさらに世界各地に販売拠点を設け広報活動にも力を入れるとともに、お客様の生の声を漏れなく収集し、ご期待に応えていきたいと考えております。お客様のニーズは、万国共通であります。「より良い製品を、適切な価格で、必要なときに、必要なところで、必要な量だけ欲しい」というものであります。このようなお客様の声を謙虚な気持ちで伺い、100%これに応えていくことが日本の伝統である『おもてなし』の心に通じるものだと自戒しております。

最後に

当社では「THKの基本方針」を定め、1. 価値創造と社会貢献、2. 顧客志向、3. 法令等の遵守を謳って事業活動を行っております。

当社は、潜在的に市場が求めているニーズを把握し、これにマッチした独創的な新製品の開発に努めるとともに、今現在お客様がお困りの課題を適切に解決し、お客様と共に成長することを目指しております。また、事業活動においては、日本や世界各国の法令や道徳、適正な商慣習を遵守し、公正な競争を通じて社会に貢献することを旨としております。

さらには、お客様、お取引先、株主の皆様、地域社会とのより良い関係作りに努め、環境保全にも貢献し、適時に公正な情報開示に努め社会の一員としての責任を果たしてまいりたいと考えております。

なお、今回のCSRレポートでは、この基本方針に則って、「本業を通じた社会貢献」の例を多数掲載いたしました。是非ともご高覧いただきますようお願い申し上げます。